

# JAMCA ジヤムカ ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.50

2006年7月1日

発行  
協会事務局  
編集事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大塚町31  
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066  
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3  
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988  
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

## 自動車整備教育に問われていること

群馬・東京自動車大学校理事長  
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事・顧問

小倉 基義

我々の学校は自動車整備という実学を通して、社会に有為な人材を輩出すべく日々努力している。

### 教育の守備範囲が拡大

しかし、近年、実学教育以外の教育の守備範囲が広がりがつあり、その対応に学校も教師も苦慮し、また、解決策を見いだすために暗中模索をしている状況ではないだろうか。

今、我が国の学校教育は過渡期の混乱にあるといえる。少子高齢化、国際化、景気の不透明な社会を迎えて従来になかった問題が湧出している。他方、物質面で豊かな、不自由を感じない社会となり、忍耐も躓踏も知らないで育ってきた若者は孤立し、結果、独り善がりの行動が社会面を賑わしている。

どうしてこのようになってきたかを考えてみるに、いろいろの原因があるように思われる。

まず、家庭教育が脆弱になってきているだろうか。家庭教育は、全ての教育の原点で、マナーを基盤とする習慣、生きる能力や物事の善し悪しを見極める倫理観を修得させる場であり、それを持って学校なり社会なりに入っていくべきである。

しかるに、少子化により親の過保護、干渉が強くなり、子供同士が競争しあい、切磋琢磨する場面が減少



してきた。それを補うために、家庭教育を強化しなくてはならないのだが、現実には逆であるようだ。

さて、どうすればよいのか。まず、自己実現力を増進してやらなくてはならないだろう。人間の生涯目標は、自分の夢、可能性を最大限実現することにあり、自己実現が可能になる力を備えてやるべきだ。これを若者に植え付けるには、教師自らが自己実現とは何かを、具体的に規定できていなくてはならない。

### 若者の自立力を養成

更に若者に自分で自分を教育するという一人で勉強する力を付けてやる。すなわち、自立力の養成である。一人で勉強すると低効率になったり、解決策が見いだせないケースが出てくるので、このとき教師が指導力を持って学ばせればよい。

いずれにしろ、自己実現の力の付く学校でなくてはならない。こうな

ると教師は若者育成のキーマンであることが要求される。ただ自動車整備を教えるだけでなく、いつも授業の場面場面で、前述のことを具体化していかななくてはならない。

イギリスの教育学者、ウィリアム・アーサー・ワールドは「凡庸な教師はただしゃべる。良い教師は説明する。優れた教師は自らやってみせる。偉大な教師は心に火を付ける」と言っている。教師は卒業生から「私が今あるのは先生のおかげです」と言われるようになってはならないだろう。

まだまだ言い足りないところが沢山あると思われるが、会員校及びその先生方が、以上のようなことを頭に入れて教育を実践していただければ、日本の教育界の中で自動車整備を教える学校は、すばらしい教育効果を上げているという評価を受けるであろう。ぜひ我々の夢に向かって努力、前進していきましょう。

### ■ CONTENTS ■

- 2面 OPINION
- 3面 我が校自慢
- 4・5面 私学における個人情報の取り扱いについて
- 6面 協会トピックス
- 7面 一級国家試験の合格率
- 8面 私の教材活用・編集後記